

活動状況報告書

1. 事業名称 ※「AEDの正しい使い方を広めたい」事業

2. 実施主体

■ 団体名: ※ デフィブリーるの会

3. 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

①AEDを知ってもらう活動

日付	作業内容
4月11日	イオン「幸せの黄色いレシートキャンペーン」表彰式
5月12日	地域新聞取材・「命の教育」と題して6月8日号に掲載
7月14日	Let's体験プレゼンとマッチング
8月9、10日	献灯まつり展示ブースと体験デモ、Let's体験参加者 6名
8月25日	小金原市民センターにてLet's参加者講習会8名と体験会
10月5、6、7日	松戸市消費生活展展示、講演会、体験コーナー
10月27日	松戸市交際交流展展示、体験コーナー

②AEDの正しい使い方を広げる活動

日付	作業内容
9月29日	「いぶきの広場」体験コーナーと実習
10月8日	自衛隊祭り 体験コーナー
10月10日	柿の木台小学校「家庭教育学級」体験会 42名
10月19日	川口名誉会長コンサートにてAEDのプレゼン
11月7日	北部小学校「家庭教育学級」体験会 20名
11月25日	小金原福祉フェア展示、体験コーナーw
12月15日	北部小学校バザー会場にて体験コーナー
25年2月9日	キックボクシングジム「ROOTS」にて体験会
2月12日	稔台連合町会AED体験会と医療講話会
2月23日	樋野口子供会 AED学習会 子供23名 父兄12名
3月4日	市内医療機関にて体験学習会 50名
3月9日	松戸市NPO・市民活動見本市 展示・体験コーナー
3月9日	医療・福祉・介護を市民活動の面から考える公開フォーラム開催

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

- ①AED講習会出前します。に対するのオファーは7件。
実現は3件。予期したより少ない。
- ②家庭教育学級は5件を予定した実施は2件。新規は1校。
- ③新規に消費生活展、交際交流展での活動場面を得た。
- ④イベント参加は 時期の重複によって 答えられず 3件。

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

- ①松戸市内のAED使用による救命率は依然として2%そこそこで、全国平均とほぼ同じ。
これの改善には道は遠いが、前期講習会を実施したところでAED使用による救命処置がされた。これは講習会の体験から落ち着いた行動が出来た成果と謝意を受けた。
- ②LET'S体験参加者8名は前期の倍増。又昨年に続くリピート参加者1名。これは大きな成果。今後のインストラクター候補となった。
- ③家庭教育学級でのカリキュラム化がされなければ市内の小学校に浸透するのは難しい。

5. 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

- ①昨年NHKの朝の番組において小学校のマラソン練習中に発生した事例紹介とAED使用の重要性を訴えていたが、ここで強く言われていたことは「迷ったらAEDを使え」でした。
- ②私たちは「一歩前に入る勇気を！」と訴えているが
今後は「一歩前に入る勇気を！」そして「迷ったらAEDを使う！」で行く。
- ③AEDは知れわたってきたが松戸市の設置台数は人口比からみて千葉県内でもまだ「1/2から1/3」だ。まだまだ少ない。
- ④その使用の救急救命学習も公に任すことでは間に合わない。
今後も「講習会出前」をしながら、他団体の力とコラボも考えわれらが意図する救命率の向上を実現して行きたい。

以上

3

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	(自己資金)			¥ 0	
	繰越金	¥ 94,434	¥ 32,230	¥ ▲62,204	
	講演料	¥ 35,566	¥ 7,500	¥ ▲28,066	家庭教育学級など3回
	寄付金など	¥ 70,000	¥ 7,817	¥ ▲62,183	コンサート時など
	自己資金合計額 (a)	¥ 200,000	¥ 47,547	¥ ▲152,453	
市	松戸市助成金 (b)	¥ 100,000	¥ 75,600	¥ 24,400	←精算額
合計額 (c) = (a+b)		¥ 300,000	¥ 123,147	¥ 176,853	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	広報紙製作費	¥ 50,000	¥ 52,500	¥ ▲2,500	パンフ・ポスター制作費
	講師謝礼	¥ 20,000	¥ 0	¥ 20,000	
	プロジェクターレンタル料	¥ 31,500	¥ 31,500	¥ 0	講演会用
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
		対象経費の合計 (d)	¥ 101,500	¥ 84,000	¥ 17,500
(その他経費)	会議費	¥ 70,000	¥ 29,347	¥ 40,653	
	通信・管理・事務	¥ 106,000	¥ 6,000	¥ 100,000	
	雑費	¥ 22,500	¥ 3,800	¥ 18,700	
	その他経費の合計額 (e)	¥ 198,500	¥ 39,147	¥ 159,353	
合計額 (f) = (d+e)		¥ 300,000	¥ 123,147	¥ 176,853	

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費 (d) 欄の90%以内であること。
- 2 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥	24,400
-----	---	--------

団体名
代表者氏名

デフィブリーるの会
森本文雄



収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	繰越金	¥ 32,230		
	講演料	¥ 7,500	3回分	公=2500円/1回
	寄付金など	¥ 7,817		エンター下時など
	自己資金合計額	¥ 47,547		
市	松戸市助成金	¥ 75,600		
合計額		¥ 123,147		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	添付1-1 パンフ・ポスター制作費	¥ 52,500	パンフ10円：3000部 ポスター15円*1000部 デザイン料	市民センター、町会などで掲示用 イベント、講習会、公的施設配置用
	添付1-2 プロジェクターレンタル料	¥ 31,500	3150円*10回	講習会・イベント時の使用
対象経費の合計		¥ 84,000		
その他経費	会議費	¥ 29,347		総会・献灯祭り・夏祭りでの弁当
	通信・管理・事務	¥ 6,000		郵便料、会場費、印刷用インクなど
	雑費	¥ 3,800		パソコンバック代など
	その他経費の合計	¥ 39,147		
合計額		¥ 123,147		

活動状況報告書

1. 事業名称 五香、六実地区歴史案内と地域活性化事業

2. 実施主体

■ 団体名： 香実会（こうみかい）

3. 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

I 印刷物作成の実施

日付	作業内容
5月25日	印刷打ち合わせ（改定版）
7月17日	パンフの印刷（マップ2000部・ガイドマップ700部）
7月17日～1月31日	パンフレットのPR配布活動（案内、役所、郵便局、BK、JAなど）

II 歴史案内の実施

日付	作業内容
4月4日	Aコース案内（10人）
4月9日	2重野馬除土手清掃（三輪宅、石井宅）
4月18日	Bコース案内（15人）
4月25日	Cコース案内（35人）
5月10日	市の広報掲載依頼（8月1日号）
6月30日	9月12日梨狩り案内打合せ
8月7日	定年時代掲載依頼（10月1日号）
7月10日	朝日新聞のASA掲載（8月20日号）
9月12日	案内の実施 Aコース、梨がり、川久美術館案内（40人）

III 講演会の実施

日付	作業内容
5月8日	市の出前講師依頼（10月14日）
7月10日	市の広報掲載依頼（9月1日号）
8月7日	定年時代掲載依頼（10月1日号）
8月15日	コアラTV取材依頼（10月14日）
8月17日	朝日新聞のASA掲載（9月20日号）
9月1日	六実太鼓出演依頼（10月14日）
10月14日	講座の開催 六実市民センター 講師 関山純也氏 参加者70人

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

印刷物：パンフレット100%印刷完成（マップ・ガイドブック）

歴史案内：90%（A・B・Cコース案内）

講演会：100% 演題「小金牧から五香六実に至る変遷」

印刷物の活用。歴史案内、講演会等で配布、活用しました。

平成25年3月23日現在の配布状況は、マップ1900部配布。（在庫100部）。ガイドブック640部配布。（在庫60部）。

歴史案内：年間約100名案内。講演会：年間70名参加して頂き、地元住民の皆さんの活性化の意識改革の足掛かりになった様に思います。

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

印刷物：マップ配布95%達成。ガイドブック配布91%達成。

歴史案内：A・B・Cコース案内90%

講演会：100%

歴史案内の中で、特産の「梨狩り」は大変好評でした。又「川久着物美術館」も2000年前（ペルー）の着物など普段目にする事が出来ない貴重な着物を拝見する事が出来ました。（参加された方々は、五香六実の素晴らしい美術館に驚いていました）

歴史案内の折には、地元交通機関、並びに食事処で昼食をして頂き、地元商店街への経済効果に僅かですが寄与しています。

講演会でも参加された方々は、改めて五香六実の文化財など新しい再発見を確認して頂き、活性化を植え付ける事が出来た様に感じました。

5. 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

歴史案内に関しては、魅力ある内容にする為に、「イチゴ狩り」・「クリ拾い」の時期にセットで案内をする様にしたいと思います。

又、特産の梨を生かし、ワイン、ビール、ジュース、お菓子、グルメなどを生み出す為に、地域との連携を図り、良いアイデアに基づき、より良い活性化に繋げて行きたいと思っています。時間は掛かると思いますが、地域を盛り上げて行きたいと思っています

平成24年度収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	雑収入	¥ 1,000		¥ ▲1,000	
	年会費	¥ 21,000	¥ 16,500	¥ ▲4,500	
	自己資金合計額 (a)	¥ 22,000	¥ 16,500	¥ ▲5,500	
市	松戸市助成金 (b)	¥ 84,600	¥ 82,944	¥ 1,656	←精算額
合計額 (c) = (a + b)		¥ 106,600	¥ 99,444	¥ 7,156	

【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
助成金の交付対象経費	マップ印刷代	¥ 24,000	¥ 17,850	¥ 6,150	案内マップ
	ガイドブック印刷代	¥ 33,000	¥ 54,600	¥ ▲21,600	案内ガイドブック
	講演会&座談会	¥ 20,000	¥ 4,810	¥ 15,190	案内チラシ
	歴史コース案内	¥ 17,000	¥ 14,900	¥ 2,100	案内チラシ
		対象経費の合計 (d)	¥ 94,000	¥ 92,160	¥ 1,840
(その他経費)	会議費	¥ 7,600	¥ 7,284	¥ 316	
	交通費	¥ 5,000		¥ 0	
	その他経費の合計額 (e)	¥ 12,600	¥ 7,284	¥ 5,316	
合計額 (f) = (d + e)		¥ 106,600	¥ 99,444	¥ 7,156	

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費 (d) 欄の90%以内であること。
- 2 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥ 1,656
-----	---------

団体名
代表者氏名

香実会
代表 岩本 昌人

平成24年度収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	年会費	¥ 16,500	1000×16=16000円	途中入会1名500円
	自己資金合計額	¥ 16,500		
市	松戸市助成金	¥ 82,944		
合計額		¥ 99,444		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の 交付対象経費	印刷製本費	¥ 72,450	マップ・ガイドブック	マップ17850円・ガイドマップ54600円
	講演会	¥ 4,810	コピー、コピー用紙 他	コピー3135円・用紙625円・インク1050円
	歴史コース案内	¥ 14,900	コピー、用紙他	コピー7160円・用紙3810円・インク3930円
	対象経費の合計	¥ 92,160		
その他経費	打合せなど	¥ 4,197	六実市民センター	例会打合せなど
	文具代	¥ 3,087	コピー代・鉛筆代	講演会など
	その他経費の合計	¥ 7,284		
合計額		¥ 99,444		

活動状況報告書

1. 事業名称 「紙敷 石みやの森」保全育成事業

2. 実施主体

■ 団体名： 松戸里やま応援団 「七喜の会」

3. 事業の実施内容

※計画時に設定した事業内容を記載して下さい。

基本方針 多くの市民に森の良さを知ってもらうため散策会などを開催する。

活動内容

- ① 適正な樹木の剪定伐採による日照取り入れ、街路灯や電線等への接触枝、腐食倒壊危険のある樹木の伐採等整備作業。
- ② 有害ゴミ等、不法投棄による森や地質の汚染、不審者の侵入による犯罪温床化、火災などの不測の事故災害の防止活動。
- ③ 定例活動の実施 毎月第一火曜日、第二木曜日、第四土曜日 他臨時活動日
- ④ その他具体的活動
 - ・「健康と癒しの森」として広く市民が利用できる自然型林型に沿った整備の実施。
 - ・森の植生調査及び植生図、草本作成。小動物や鳥の生態調査実施。
 - ・枯れ死、折損、倒壊した樹木の伐採整備。下枝、下草の処理実施
 - ・「持ち出さない、持ち込まない」を原則に森で伐採した全ての枝葉をバイオレストに収容。昆虫類の孵化生息や堆肥化させ家庭の花壇菜園へ活用。
 - ・埋設、投棄ゴミの回収。投棄防止の啓蒙掲示板設置。
 - ・会員の知識、技能のレベルアップを図る技能講習会、観察会などへの参加。
 - ・保全活動を市民へ広げるため案内板の制作設置。

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

- ① 定期的な森内及び外周市道の倒壊折損木、徒長枝等の伐採剪定作業。
 - ・月初めの火曜日、第二週の木曜日、第四土曜日を定例日として活動。
 - ・平成24年4月～平成25年2月 活動回数29回 活動参加人数167名
- ② 特に台風、降雪により倒壊した樹木、折れた枝葉などの処理作業。
- ③ 定期的〔活動日の都度〕な見回り、森内・外周市道の埋蔵投棄ゴミの掘り出し回収
- ④ 森入口のテーブル周辺のごみ投棄防止を呼び掛ける標識の設置
 - ・纏まったゴミの投棄は一回のみ。空き缶と菓子袋等が散見したのみ。
- ⑤ 外周市道境界の破損した竹垣補修、市道上に伸びた枝の処理など散策環境の整備。
- ⑥ 外周市道際の倒壊木の観察と記録。危険度を判定して伐採計画を立案実施。
- ⑦ 市販のコンパネ材により野馬除け土手、傾斜地盤の崩壊防止対策を実施。
- ⑧ 「持ち出さない、持ち込まない」を原則に全ての伐採枝葉をバイオレストに回収。
- ⑨ チェンソー講習会、樹木剪定塾、野鳥観察会、野田市里やま保全観察会などに参加し環境保全、伐採技能などの向上を図る。

⑩ 森の掲示板を製作。各種イベントの紹介、活動報告などを掲示して活動広報。

⑪ 森の公開活動

★ 第1回オープンフォレストin松戸へ参加 開催期間 平成24年5月12日から20日まで
森の一斉公開日 5月13日〔日〕27名

16日〔水〕森めぐりツアー参加者含め110名の方が来森

★ 松戸市認可保育園「社会福祉法人親愛会 東松戸保育園」園児の来森

5月17日約40名の園児と先生の皆さんが来森。ハンモックで遊び、シートに寝転び
虫や葉っぱを見つけ、歌を合唱したり楽しいひと時をすごした。

★ 秋の散策会開催 12月1日〔土〕 3名

・事前に千葉県水道局給水場テニスクラブ代表者、介護付き老人ホーム「親愛カトリア館」
豊泉製作所、菜園所有者、県水道局給水場少年野球審判団、コーチなど周辺地域の方々
へ直接お会いしポスター掲示とチラシを配布した。

・近隣のマンションなどに開催チラシのポストインなどによる呼び掛け実施。

・開催日は朝から曇り空で開催時刻直後に雨が降り始め正午には大雨となる荒天。

当日は学校の登校日にあたり参加者が少なかった。

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

- ・24年度の整備率目標を75%としたが約90%達成。
- ・第1回オープンフォレストin松戸に参加、東松戸保育園児の来森を含め延べ180名に
及び多くの市民の皆さんに来森頂き、森保全の大切さを知って頂いた。
- ・24年3月「春休み森の散策会」、12月「秋の散策会」を開催したが、天候不順・広報・
登校日など配慮不足により参加者が少なかった。反省点として今後に生かして行きたい。
- ・「秋の散策会」で市民から活動参加の意思表示があった。引き続き日常活動やイベントなど
を通じて仲間づくりに努める。
- ・新しく掲示板を設置し活動報告や関連団体の情報を掲示。通行する市民の方々が足を止め
て見入ることが多くなり少しずつ市民の関心が広まってきた。
- ・前年に引き続き外周路の美観整備に心掛けゴミ投棄の防止に役立った。

5. 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

- ・オープンフォレストin松戸、散策会などで深まった市民の方々との繋がりを大事にし
て活動の理解と共有化を図る。
- ・散策会を定例開催する中で保全事業への関心を高め仲間を増やし緑の保全を広める。
- ★東松戸保育園の皆さんとは森の散策を定例化することを決めた。〔25年3月7日実施予定〕
- ・森内には樹齢100年を超える大樹があるが、これらの枯れ死倒壊木の処理には電動機材
が必須。民間団体の助成などを申請して整備を順次進める。
- ・「子供からお年寄りまで憩える癒しと健康の森」を目的に今後も整備を進める。
- ・作業技能と環境保全の技能向上と意識醸成のため、里やま応援団などが主催する講習会や
学習会に積極的に参加する。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
団体	前期繰越金	¥ 5,457	¥ 5,457	¥ 0	
	年会費	¥ 13,000	¥ 13,000	¥ 0	1,000/1人×13名
	みどりと花の基金	¥ 30,000	¥ 30,000	¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金合計額 (a)	¥ 48,457	¥ 48,457	¥ 0	
市	松戸市助成金 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (a+b)	¥ 148,457	¥ 148,457	¥ 0	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の 交付対象経費	1. 作業用具費 等	¥ 105,000	¥ 110,289	¥ ▲5,289	1
	2. 散策会開催広報活動費 消耗品・事務用品費	¥ 24,500	¥ 19,404	¥ 5,096	2
		対象経費の合計 (d)	¥ 129,500	¥ 129,693	¥ ▲193
(その他 対象外) 経費	通信・会議・資料補助費	¥ 3,500	¥ 2,840	¥ 660	
	飲料水その他補助費	¥ 15,457	¥ 15,924	¥ ▲467	
	その他経費の合計額 (e)	¥ 18,957	¥ 18,764	¥ 193	
	合計額 (f) = (d+e)	¥ 148,457	¥ 148,457	¥ 0	

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費 (d) 欄の90%以内であること。
- 2 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額

0

団体名 松戸里やま応援団 七喜の会
代表者氏名 代表 栗田 吉治

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	前期繰越金	¥ 5,457		決算後余剰金50円含む
	年会費	¥ 13,000	1,000円/1人	本年度活動会員13名
	みどりと花の基金	¥ 30,000		
	自己資金合計額	¥ 48,457		
市	松戸市助成金	¥ 100,000		
合計額		¥ 148,457		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	作業用具費	¥ 110,289	防虫ネット 5,325円 アルミ製脚立 4,880円 パワービットセット他 3,367円 築路用コンパネ他 39,990円 防腐塗料他 22,401円 ボイズンリムパー 4,320円 ハチアブマグナム 2,704円 塗料用下げ缶他 1,404円 水性塗料 5,780円 ユーズフルバック他 1,660円 ポリタンク 445円 防腐塗料 8,980円 アルカリ電池他 2,328円 コンベックス 105円 丸ヤスリ 1,200円 目立てキット 5,400円	1-①蚊蜂除けフェイスカバー 1-②低中木伐採用足場 1-③電動ドリル用ドライバー 1-④野馬除土手等崩壊部補強材 1-⑤崩壊部補強材防虫防腐剤 1-⑥蜂毒等吸引治療器 1-⑦スズメバチ・アブ殺虫剤 1-⑧塗装時の塗料小分け容器 1-⑨崩壊部補強材防虫防腐剤 1-⑩小枝、落葉等収集用 1-⑪水補給用 1-⑫崩壊部補強材防虫防腐剤 1-⑬懐中電灯用 1-⑭計測用巻尺 1-⑮チェンソー-目立て用 1-⑯チェンソー刃研磨用
	散策会開催広報活動費	¥ 19,404	インクカートリッジ 2,890円 掲示板用板 978円 インクカートリッジ 1,910円 インクカートリッジ 4,734円 インクカートリッジ 790円 ラミネートフィルム 1,172円 インクカートリッジ 3,960円 イベント用ベンチ材料 2,970円	2-① 2-② 2-③ 2-④ 2-⑤ 2-⑥ 2-⑦ 2-⑧
対象経費の合計		¥ 129,693		

その他経費	通信・会議・資料補助費	¥ 2,840	総会会議室借用料 720円 郵送料 80円 郵送料 200円 郵送料 120円 郵送料 440円 郵送料 280円 里やま応援団会費 1,000円	
	飲料水その他補助費	¥ 15,924	交通費 2,840円 交通費 2,840円 交通費 1,420円 交通費 1,200円 ふるさと森の会交流費 1,500円 オープンフォレスト 4,500円 協賛金及び交通費 各種イベント飲料代 1,624円	
	その他経費の合計	¥ 18,764		
合計額		¥ 148,457		

活動状況報告書

1. 事業名称 健康な心を育む勇気づけの対応
2. 実施主体 松戸市男女共同参画推進グループ
ファミリーサポート・勇気づけ
3. 事業の実施内容

I 「勇気づけの親子関係実践セミナーの実施」

日付	作業内容
4月8日～10日	事業企画打ち合わせ
4月19日 /	セミナー実施 参加者 7名
4月22日 /	セミナー実施 参加者 5名
5月8日 /	セミナー実施 参加者 2名
5月11日 /	セミナー実施 参加者 6名
5月27日 /	セミナー実施 参加者 8名
6月1日 /	セミナー実施 参加者 2名
6月7日 /	セミナー実施 参加者 5名
6月17日 /	セミナー実施 参加者 4名
7月5日 /	セミナー実施 参加者 4名
7月15日 /	セミナー実施 参加者 4名
9月13日 /	セミナー実施 参加者 14名
9月16日 /	セミナー実施 参加者 5名
10月11日 /	セミナー実施 参加者 6名
10月14日 /	セミナー実施 参加者 4名
10月18日 /	セミナー実施 参加者 2名
11月15日 /	セミナー実施 参加者 6名
11月22日 /	セミナー実施 参加者 5名
11月25日 /	セミナー実施 参加者 6名
12月6日 /	セミナー実施 参加者 5名
12月13日 /	セミナー実施 参加者 4名
12月16日 /	セミナー実施 参加者 5名
1月17日 /	セミナー実施 参加者 6名
1月20日 /	セミナー実施 参加者 4名
1月24日 /	セミナー実施 参加者 4名
2月14日 /	セミナー実施 参加者 4名
2月21日 /	セミナー実施 参加者 1名
3月14日 /	セミナー実施 参加者 5名
3月17日 /	セミナー実施 参加者 4名
3月21日 /	セミナー実施 参加者 3名
	29回実施 参加者合計 140名

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

平成24年6月に不登校生の居場所「ひだまり」(松戸市)で 不登校のお子さんを持つ保護者の方々に「勇気づけの対応」について ご紹介させて頂いた。

平成25年1月19日(土)に 柏市の三校合同ミニ教育集会で「教師、保護者」の方々に「勇気づけの対応」についてお話させて頂いた。

不登校の中・高生を持つ親の会:青空の会(我孫子市)で平成24年4月から継続して「勇気づけの親子関係実践セミナー」を実施して頂け、平成25年度も行って頂けることになっている。

新松戸幼稚園の園児の保護者の方々が「保育付きのゆうまつどでのセミナー」に継続して出て下さり、他の方々を誘って頂けた。

(2) 事業課題の解決について

日本の大きな社会問題となっている現象は「体罰、いじめによる自殺」など項目が増えるばかりで解決には程遠い。

小さな活動ではあるが 少しずつ広がりもある。根気強く活動を続けていくことが重要だと思う。

公的機関に関心を持って頂けるよう、出来つつある関係を大切にしていきたい。

5. 今後の事業展開

①現在行っている「不登校の中・高生を持つ親の会(我孫子市)」でのセミナーを継続

②現在参加者の多い「新松戸幼稚園」への営業活動

③H.25.1.19に福田が講演を行った 柏市内小学校の校長先生を通して「セミナーのチラシ」を松戸市の教育委員会に紹介依頼

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
団体	講座参加料	¥ 140,000	¥ 140,000	¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金合計額 (a)-	¥ -140,000	¥ 140,000	¥ 0	
市	松戸市助成金 (b)	¥ 100,000	¥ 64,500	¥ 35,500	←精算額
合計額 (c) = (a + b)		¥ 240,000	¥ 204,500	¥ 35,500	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	チラシデザイン料	¥ 15,000	¥ 15,000	¥ 0	
	チラシ印刷費	¥ 30,000	¥ 30,000	¥ 0	チラシ印刷
	講座講師手当	¥ 60,000	¥ 58,000	¥ 2,000	
	保育費	¥ 20,000	¥ 36,040	¥ ▲16,040	
	封筒印刷費	¥ 2,500	¥ 5,000	¥ ▲2,500	
	通信費	¥ 12,080	¥ 12,080	¥ 0	郵便料
	アドバイザー謝礼金	¥ 30,000		¥ 30,000	
	消耗品封筒	¥ 2,500		¥ 2,500	
	消耗品レジメ印刷用紙	¥ 2,660		¥ 2,660	
				¥ 0	
		対象経費の合計 (d)	¥ 174,740	¥ 156,120	¥ 18,620
(その他経費)	雑費	¥ 65,260	¥ 48,380	¥ 16,880	
		¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	その他経費の合計額 (e)	¥ 65,260	¥ 48,380	¥ 16,880	
合計額 (f) = (d + e)		¥ 240,000	¥ 204,500	¥ 35,500	

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費 (d) 欄の90%以内であること。
- 2 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥ 35,500
-----	----------

団体名 松戸市男女共同参画推進グループ
 ファミリーサポート・勇気づけ
 代表者氏名 福田 育子

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	講座参加料	¥ 140,000		講座参加者 1,000円×140人
市	松戸市助成金	¥ 64,500		
合計額		¥ 204,500		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の 交付対象 経費	チラシデザイン料 1	¥ 15,000	15,000円*1回	
	チラシ印刷費 2	¥ 30,000		
	講座講師手当 3	¥ 58,000	2,000円×29回	
	保育費（まつど一時保育 ネットワーク） 4	¥ 36,040		
	封筒印刷代 5	¥ 5,000	5,000円*1回	
	通信費 6	¥ 12,080	80円×151	切手代 80円×151機関
	対象経費の合計	¥ 156,120		
その他 経費	雑費	¥ 48,380		
	その他経費の合計	¥ 48,380		
合計額		¥ 204,500		

活動状況報告書

1. 事業名称 園芸活動を基盤とした高齢者宅での地域福祉活動及びマニュアル作成事業
2. 実施主体
 - 団体名： HGC (Human Green Coordinator)
3. 事業の実施内容

取り組み1 地域福祉活動 (松戸市松戸地区)

日付	作業内容
2012年4月14日	Aさん宅下見
2012年4月17日	Bさん宅除草・剪定作業
2012年4月21日	Cさん宅下見
2012年4月22日	Aさん宅除草・剪定作業
2012年4月25日	Dさん宅下見
2012年5月10日	Eさん宅除草・剪定作業
2012年5月17日	Eさん宅除草・剪定作業
2012年5月19日	Aさん宅除草・剪定作業
2012年5月26日	Eさん宅除草・剪定作業
2012年5月28日	Fさん宅下見
2012年5月31日	Bさん宅除草・剪定作業
2012年6月2日	Eさん、Gさん宅除草・剪定作業
2012年6月6日	Fさん宅除草・剪定作業
2012年6月7日	Bさん、Gさん宅除草・剪定作業
2012年6月14日	Bさん、Eさん宅除草・剪定作業
2012年6月18日	Fさん宅除草・剪定作業
2012年6月21日	Gさん宅除草・剪定作業
2012年7月3日	Gさん宅除草・剪定作業
2012年7月5日	Eさん・Fさん宅除草・剪定作業
2012年7月8日	Aさん宅除草・剪定作業
2012年7月19日	Gさん宅除草・剪定作業
2012年7月26日	Fさん宅除草・剪定作業
2012年7月28日	Aさん宅除草・剪定作業
2012年8月3日	Gさん宅除草・剪定作業
2012年9月10日	Bさん宅除草・剪定作業
2012年9月11日	Bさん宅除草・剪定作業
2012年9月17日	Aさん宅除草・剪定作業
2012年10月11日	Fさん宅除草・剪定作業

2012年12月12日	Eさん宅除草・剪定作業
2012年12月18日	Bさん宅除草・剪定作業
2012年12月21日	Aさん、Gさん宅除草・剪定作業

取り組み2 マニュアル作成事業

日付	作業内容
2012年10月9日	地域福祉活動のふりかえり
2012年11月13日	地域福祉活動のふりかえり
2012年12月11日	地域福祉活動まとめ
2012年1月8日	マニュアル改訂事項検討
2012年2月12日	マニュアル改訂事項検討
2012年3月12日	マニュアル改訂事項検討
2012年3月19日	製本原稿提出

取り組み3 広報活動

日付	作業内容
2012年10月6・7日	まつどまつり参加(アロマキャンドル・サシェ販売・広報活動)

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

目標は新規開拓10件。そのうち目標継続率50%とし、のべ25回訪問としていた。

実績は、新規開拓は7軒に留まったが、ほとんどのお宅において継続しており、訪問回数はいずれも30回を超えた。当初一回限りの依頼も多いと予想されたが、高齢による体調不良のため継続的な訪問を要望される方が多かった。また、事業目的として学生と高齢者とのコミュニケーションの創出を掲げていたが、それらの内容については別紙1にてまとめた。

また今後の継続性を図るため、本事業の結果をふまえ、マニュアルを改訂し、初めて活動実践する学生でもわかりやすいように改訂した。

(2) 事業課題の解決について

「本活動を定期的に繰り返して継続することにより、学生と高齢者がコミュニケーションを取りやすい人間関係を創出し、高齢者には植物を育てる事や学生との交流において生きがいを持ちながら、日常生活を安心して暮らせる地域を目指したい。」としたが、本事業によって学生および高齢者双方の声からそれらが達成できたと考えられた(別紙1参照)。

また、本事業により学生自身が今後の社会の在り方や専門スキルを磨く場として醸成できる場にもなり、学生にとっても幅広い見識を持った人材へと育成することができた。

5. 今後の事業展開

本事業の進め方に関しては、ある程度の経験とシステム化が達成できたと考えられた。しかし今後の課題として、想定以上の依頼があったため、学生だけでは対応できない状況が多々見受けられた。現在活動している学生が継続できる仕組みと、新しい学生を獲得していく仕組みが必要である。

新しく参加した学生に対しては、今回改訂したマニュアルを有効活用し、活動しやすい組織環境・システムづくりに努める必要がある。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	会員会費	¥ 5,000	¥ 5,000	¥ 0	
	作業謝礼金	¥ 50,000	¥ 8,000		
	自己資金合計額 (a)	¥ 55,000	¥ 13,000	¥ ▲42,000	
市	松戸市助成金 (b)	¥ 70,000	¥ 45,900	¥ 24,100	←精算額
合計額 (c) = (a + b)		¥ 125,000	¥ 58,900	¥ 66,100	

【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 10,000	¥ 7,916	¥ 2,084	
	印刷製本費	¥ 60,000	¥ 38,200	¥ 21,800	
	イベント運営費	¥ 10,000	¥ 4,897	¥ 5,103	
		対象経費の合計 (d)	¥ 80,000	¥ 51,013	¥ 28,987
(その他対象外) 費	庭の整備費	¥ 25,000	¥ 7,887	¥ 17,113	
	交通費	¥ 10,000	¥ 0		
	保険代	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	
	その他経費の合計額 (e)	¥ 45,000	¥ 7,887	¥ 37,113	
合計額 (f) = (d + e)		¥ 125,000	¥ 58,900	¥ 66,100	

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費 (d) 欄の90%以内であること。
- 2 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥ 24,100
-----	----------

団体名 HGC
 代表者氏名 本田 ともみ
 代表

収支内訳書

【事業費の収入額】

	科 目	金 額	内 訳 摘 要
団 体	会員会費	¥ 5,000	500円*10人 事業費の一部を拠出
	作業謝礼金	¥ 8,000	2,000円*4軒 当団体への寄付金
	自己資金合計額	¥ 13,000	
市	松戸市助成金	¥ 45,900	
合 計 額		¥ 58,900	

【事業費の支出額】

	科 目	金 額	支 出 内 訳	説 明 事 項 (用途など)
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 7,916	農薬、蚊取り線香 等 7,916円	作業に必要な物品
	印刷製本費	¥ 38,200	製本代 36,000円 コピー用紙代 2,200円	マニュアル作成
	イベント運営費	¥ 4,897	画用紙 等 2,728円 印刷用紙 等 2,169円	活動広報
	対象経費の合計	¥ 51,013		
その他経費	庭の整備費 (苗代など)	¥ 7,887		
	その他経費の合計	¥ 7,887		
合 計 額		¥ 58,900		

活動状況報告書

1. 事業名称 成年後見制度の普及啓発と市民後見人の活用促進事業

2. 事業主体 NPO法人 東葛市民後見人の会

3. 事業実施の内容

I 新松戸講習会の実施

日付	作業内容
～24年4月1日	講習会の講師、後援依頼先、広報掲載依頼先等の検討
4月2日～4月8日	用紙・資料入れの封筒購入
4月11日	矢切サポートセンターにてチラシの印刷
4月11日	松戸市社協にチラシの配布依頼
4月13日	松戸市協働推進課にチラシの配布依頼
4月17日	新松戸地区高支連へのチラシ配布依頼準備(発送)
5月1日	松戸市広報誌、月刊新松戸に開催日程を掲載
5月4日	矢切サポートセンターにて講習会レジメ・アンケートなどを印刷
5月16日	新松戸市民センターにて資料袋詰め・開催日の段取り打ち合わせ
5月19日	* 新松戸市民センター 2階会議室にて講習会開催 * テーマ「市民が支える成年後見」～ご存知でしょうか「成年後見制度」～ 講師 鷲山俊男氏 * 参加者47名 (総勢 50名 事務局含み) アンケートへの協力者 26名 当会への入会 1名

II 常盤平講習会の実施

日付	作業内容
5月16日	講習会の開催日程、講師などについて打ち合わせ
6月1日～6月30日	講習会の概要を随時検討打ち合わせ(後援先等)
7月25日	常盤平団地自治会 中沢会長に面会、団地自治会とNPO孤独死ゼロ研究会から後援を受けることになる
8月1日～8月7日	印刷用用紙・資料入れ封筒購入
8月8日	矢切サポートセンターにてチラシ印刷
8月8日	チラシ配布依頼 協働推進課 松戸市社協 常盤平団地自治会
8月9日～9月25日	参加者募集のため関係各所にチラシ配布
9月1日	松戸市広報誌 月刊新松戸に講習会日程及び募集記事掲載
9月12日	常盤平団地自治会中沢会長に面会 参加者募集協力再度お願い
9月14日	地域新聞に講習会日程及び募集記事掲載
9月15日	矢切サポートセンターにてレジメ・アンケート印刷及び封筒袋詰め
9月26日	* 常盤平市民センター第1会議室にて講習会開催 * テーマ「市民が支える成年後見」～ご存知でしょうか「成年後見制度」～講師 鷲山俊男氏 * 参加者50名 (総勢 53名 事務局含み) アンケートへの協力者 40名 当会への入会 2名 市民後見人養成講座への参加 1名 相談会実施 1名

Ⅲ 新松戸マンション出前講座(7丁目町会サンライト五番街、西パークハウス)の実施

日付	作業内容
9月30日	出前講座の概要打ち合わせ(日程・テーマ・講師・主催等)
10月4日	地元団体役員との打ち合わせ(日程・テーマ等)
10月21日・28日	開催当日の集合時間・役割分担等を決定
11月初旬	全戸(約2000戸)に案内チラシ配布
11月15日	地元団体役員との第2回めの事前打ち合わせ
11月29日	*新松戸7丁目五番街D棟集会所にて講習会開催 *テーマ「知って置きたいあなたを支える制度—成年後見・相続—」~講師あすかフロンティア 司法書士 宮田圭祐氏 *参加者 83名(総勢89名 事務局含み) アンケートへの協力者 34名 当会への入会1名

Ⅳ 新松戸マンション出前講座(4丁目、マンションサンライト六番街)「楽しく大学」の実施

日付	作業内容
11月24日・25日	講習会のテーマ・話す内容などについて検討
12月22日	楽しく大学、マンション高支運役員と事前打ち合わせ
12月22日・23日	講習会に使用するレジメ・配布資料などについて打ち合わせ
12月28日	マンション広報1月号に講習会案内掲載
25年1月5日~8日	印刷用紙の準備・資料封入の封筒準備
平成25年1月9日	矢切サポートセンターにてレジメの印刷及び資料の封筒袋詰め
1月13日	*新松戸六番街管理センター集会所にて講習会実施(楽しく大学—ミニ講習会) *テーマ「知って安心、老後に役立つ制度」—成年後見・相続— 講師 GFP 青木敏郎氏 *参加者 22名(総勢 30名 事務局含み) アンケートへの協力者 18名 相談希望者 1名

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

事業申請で掲げた事業内容

- ① 専門家を講師とした成年後見制度の理解と活用の為の講習会を地域の公的施設にて開催制度の周知・利用促進を図る
- ② 上記に併せ、マンション、町会等の小規模施設で、よりきめ細かい勉強会のごときを出前形式にて開催
- ③ 講習会・勉強会にて後見上の「悩み事」を聞く身近で親身になった相談会を設ける必要に応じて後見受任に繋げる 後見事案に応じて専門職を活用する

以上の内容に対して

地域での講習会を 予定通り新松戸の市民センターと常盤平市民センターで開催し、小規模施設での出前講座も新松戸の町会、及びマンションで2回、合計4回の講習会を開催することができた 各々の企画とも事前の呼びかけ、町会等のネットワークを活用し、予想を上回る人数の参加を得ることができた 講習会終了後には、制度の理解度他感想などについて参加者からアンケートに回答していただき「良く理解できた」と「まあまあ理解できた」の合計が74%～100%であり講習会開催の成果はあったと感じている

また講習会終了後、相談を希望した方が2名おり内1名の方は相談会を実施し、もう1名の方は電話対応で終了した 市民後見人養成講座を受講した方1名、当会に入会した方が4名いる

(2) 事業課題の解決について

成年後見制度は 認知症高齢者等支えを必要とする方の支援する重要な制度であると認識している 周知を図り、活用されるよう努めていきたい

上記の通り一定の成果はあったと思われるが 支援を必要としている人数からすれば相談件数はまだ全く少なく、松戸市在住の方の後見受任はこれからである また制度の啓蒙・啓発についても更に継続していく必要があると考えている

(3) 今後の事業の展開

今後はミニ講習会・相談会の開催及び包括支援センター等関係機関との連携を強め具体的に支援を必要としている方の掘り起し、相談対応・後見受任を目指して行きたい

また制度の普及、担い手の拡大のため松戸市での市民後見人養成講座の開催も検討していきたい 当会が我孫子市で25年2月～3月に開催する市民後見人養成講座(定員60名)に松戸市在住の方から25名の申し込みがあり内16名(待機者9名)が受講することになっている この制度に対しますます関心が高まってきていると感じている

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	会 費	¥ 41,200	¥ 14,833	¥ ▲26,367	
	自己資金合計額 (a)	¥ 41,200	¥ 14,833	¥ ▲26,367	
	市 松戸市助成金 (b)	¥ 100,000	¥ 79,900	¥ 20,100	←精算額
合計額 (c) = (a + b)		¥ 141,200	¥ 94,733	¥ 46,467	

【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
助成金の 交付対象経費	講師代	¥ 80,000	¥ 65,000	¥ 15,000	講師謝礼
	講習会等案内チラシ印刷代	¥ 20,000	¥ 3,620	¥ 16,380	チラシ、レシメ印刷
	通信費	¥ 8,000	¥ 2,900	¥ 5,100	チラシ郵送費
	会場使用料	¥ 4,000	¥ 0	¥ 4,000	会場使用料
	消耗品代 (用紙代等)	¥ 6,000	¥ 17,338	¥ ▲11,338	チラシ、レシメ用紙
	対象経費の合計 (d)	¥ 118,000	¥ 88,858	¥ 29,142	
(その他 対象外) 経費	スタッフ交通費	¥ 16,000	¥ 0	¥ 16,000	
	事前打合せ費用	¥ 7,200	¥ 5,875	¥ 1,325	会場費他
		¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	その他経費の合計額 (e)	¥ 23,200	¥ 5,875	¥ 17,325	
合計額 (f) = (d + e)		¥ 141,200	¥ 94,733	¥ 46,467	

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費 (d) 欄の90%以内であること。
- 2 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥ 20,100
-----	----------

団体名 NPO法人東葛市民後見人の会
 代表者氏名 理事長 星野征朗

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	会費	¥ 14,833		会費収入より充当
	自己資金合計額	¥ 14,833		
市	松戸市助成金	¥ 79,900		
合計額		¥ 94,733		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	講師代	¥ 65,000	√ 20,000円*2回 √ 15,000円*1回 √ 10,000円*1回	講師謝礼 講師名 鷺山氏 20,000円×2回 宮田氏 15,000円、青木氏10,000円
	講習会等案内チラシ印刷代	¥ 3,620	100円*36版、 10円*2コピー代	新松戸、常盤平講習会他チラシ、レジメ印刷用版代、拡大コピー代（計6800枚）
	通信費	¥ 2,900	80円*28箇所、 80円*6、90円*2	新松戸高支連代表者宛て28人、 会員宛てチラシ配布依頼分8件
	会場使用料	¥ 0		
	消耗品代（用紙代等）	¥ 17,338	1.96円*6800枚 12.5円*228袋	事業用消耗品 チラシ、レジメ印刷用紙 6,800枚 （チラシ4,300） 封筒 郵送、講座時配布用A4封筒 228
	対象経費の合計	¥ 88,858		
その他経費	スタッフ交通費	¥ 0		
	事前打合せ費用	¥ 5,875		事前準備会場費、講師迎えタクシー代他
	その他経費の合計	¥ 5,875		
合計額		¥ 94,733		

活動状況報告書

1. 事業名称 ゆいの花音楽会事業
2. 実施主体
■ 団体名： 松戸ウインドアンサンブル

3. 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

I ゆいの花音楽会の実施

日付	作業内容
4月1日～5日	事業企画打ち合わせ
4月8日～10日	チラシの企画及び作成
4月11日	チラシの印刷
4月15日	市の広報掲載依頼 (5月1日号)
4月17日～20日	チラシのPR活動 (松戸よみうり)
5月1日～3日	音楽会打ち合わせ及び準備
5月13日	ゆいの花音楽会実施 ゆいの花公園 参加者 80人
5月13日	ゆいの花音楽会実施
11月18日	事業企画打ち合わせ
6月11日	チラシの企画及び作成 チラシの印刷
9月15日	市の広報掲載依頼 (11月15日号)
10月17日～20日	チラシのPR活動 (松戸よみうり・朝日れすか・地域新聞)
11月5日～9日	音楽会打ち合わせ及び準備
11月18日	ゆいの花音楽会の実施 ゆいの花公園 参加者 120人

II マラカス作り講座の実施

日付	作業内容
5月4日	講座の開催 ちばコープ 参加者 13人
6月15日	講座の開催 ちばコープ 参加者 15人
7月11日	講座の開催 ちばコープ 参加者 8人
8月13日	講座の開催 ちばコープ 参加者 12人
9月7日	講座の開催 ちばコープ 参加者 17人
10月9日	講座の開催 ちばコープ 参加者 13人
11月10日	講座の開催 ちばコープ 参加者 11人

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

上記記載の各種合奏練習会（参加者 89 名）・演奏会（参加者 200 名）を通じて、子供から高齢者まで多くの市民に「地域住民が気軽に触れ合える」場所・空間の提供が実現できたことから、事業目的は概ね達成できたものと自己評価しております。

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

演奏会では演奏会参加者が当楽団の団員とともに楽器（簡易マラカス）を工作し、その楽器を使って一緒に音楽を奏でたり、また演奏にあわせた合唱を行っております。それらの「音楽の力」をテコとした交流によって、より多くの市民の方に「地域とのつながり、人と人とのつながり」を感じ取っていただけたものと自己評価しております。

5. 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

現在は本事業の「草の根的な拡散」を主眼とし、スポット的な演奏会活動を本事業の取組の柱としていることから、各演奏会の参加者とのコミュニケーションもスポット的なものに留まっております。故にコミュニケーションの「深度」という点では、まだまだ改善の余地があるものと考えております。

については、各種演奏会のスポット開催を通じた事業の拡散によって引き続きコミュニケーションの「量」の拡大を図るとともに、一方ではコミュニケーションの「質」を深めることを主眼に、演奏会の定例開催等によって参加者のリピーター化を図り、コミュニケーションを継続的なものに深化させることも検討したいと考えております。

また「質」を深めるための策として、各コミュニティの特性にあわせた活動の展開も検討して参ります。具体的には、高齢者・子育て世代・児童といった各世代にあわせて演奏会活動の内容をアレンジすること、また老人会・育児サークル・子供会といった各種コミュニティとのジョイントも検討して参ります。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
団体	団体拠出金	¥ 20,000	¥ 12,871	¥ ▲7,129	
	自己資金合計額 (a)	¥ 20,000	¥ 12,871	¥ ▲7,129	
市	松戸市助成金 (b)	¥ 50,000	¥ 25,836	¥ 24,164	←精算額
合計額 (c) = (a+b)		¥ 70,000	¥ 38,707	¥ 31,293	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	楽譜・印刷費	¥ 32,000	¥ 16,580	¥ 15,420	楽譜料金
	コピー代	¥ 10,000	¥ 8,795	¥ 1,205	チラシ印刷
	雑費(手作り楽器作り)	¥ 10,000	¥ 3,332	¥ 6,668	雑費
	会場費(合同合奏練習場所)	¥ 6,000	¥ 0	¥ 6,000	
	通信費(切手・手紙)	¥ 2,000	¥ 0	¥ 2,000	
		対象経費の合計 (d)	¥ 60,000	¥ 28,707	¥ 31,293
(その他対象外経費)	食糧費	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ 0	
		¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	その他経費の合計額 (e)	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ 0	
合計額 (f) = (d+e)		¥ 70,000	¥ 38,707	¥ 31,293	

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費 (d) 欄の 90% 以内であること。
- 2 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥	24,164
-----	---	--------

団体名 松戸ライオンクラブ
 代表者氏名 田長 勲

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	団体拠出金	¥ 12,871		事業費の一部を拠出
	自己資金合計額	¥ 12,871		
市	松戸市助成金	¥ 25,836		
合計額		¥ 38,707		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の 交付対象経費	楽譜・印刷費	¥ 16,580	*6080円 *10500円	ウィンズスコア 6080円 フォスター 10500円
	コピー代	¥ 8,795	1,759部*5円	広報チラシの印刷代 1759部印刷
	雑費(手作り楽器作り)	¥ 3,332		
	会場費(合同合奏練習場所)	¥ 0		
	通信費(切手・手紙)	¥ 0		
	対象経費の合計	¥ 28,707		
その他経費	雑費(シャボン玉材料等)	¥ 10,000		
	その他経費の合計	¥ 10,000		
合計額		¥ 38,707		

活動状況報告書

1. 事業名称 難聴者にやさしいまちをつくろう事業

2. 実施主体

■ 団体名: NPO法人 ユニバーサル・サウンドデザイン

3. 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

I FAX番号があると安心だね 大作戦!の実施

日付	作業内容
6月10日～12日	事業企画打ち合わせ
6月18日～25日	チラシ案だし及びデザイン依頼
7月7日	チラシデザイン入校・印刷
7月15日	商店街へのアプローチ 常盤平商店街 五香商店街
7月17日～8月18日	ホームページおよびFacebook、ブログでの活動のPR
8月5日～9日	大作戦打ち合わせ及び事前現地調査
8月11日 8月18日	大作戦の実施 常盤平11日 五香18日 訪問店舗50件

II 親と子のすくすく演奏会の実施

日付	作業内容
1月4日～10日	演奏会企画打ち合わせ 演奏家さんへの企画提案 開催場所オファー
1月11日～17日	チラシ案だし及びデザイン依頼
2月1日	チラシの印刷
1月28日	松戸子育てフェスティバルプログラムへの掲載依頼
2月1日～8日	演奏会演奏楽曲 調整準備
2月12日	演奏会場の広さや音漏れに関する確認
2月24日	親と子のすくすく演奏会 ふれあい22 参加者150人

III 聴こえ支援スピーカーをつかったPAによる難聴者のサポートの実施

日付	作業内容
4月5日～7日	聴こえ支援スピーカー企画立案
4月8日	常盤平6丁目町会長とのご面談
4月9日	事前デモンストレーション
4月12日	町内会役員へのご説明
4月13日～14日	聴こえ支援PA実施 常盤平市民センター 参加者60人
2月3日	聴こえ支援PA実施 新松戸リバイバルチャーチ 参加者60人

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

・難聴＝障害というイメージをもつ方が多く、アプローチはしたものの松戸での理解者が非常に少なく開催に苦勞したが、FAX番号があると安心だね大作戦！は五香と常盤平の商店会会長に理解を得ることができたことで実施となった。

訪問した店舗は50店におよび FAX 番号を今後記載してもらえとの約束をいただくことができた。

・また、常盤平6丁目町会長のご協力もいただき6丁目の総会のPAのサポートも実施することができた。60名の町会みなさんに聴こえやすいスピーカーをつかって総会を実施することができた。本年度4月20日の総会もご利用いただく予定である。

・児童難聴の注意喚起を目的とする演奏会「親と子のすくすく演奏会」についてもまつ子どもフェスティバルにて開催することができ、たくさんの親子に聴こえることのすばらしさを体験いただくことができた。

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

・難聴という目にはなかなか見えない「社会的課題」をわかりやすく健聴者に伝える企画を実施することで、千葉はもちろん全国の難聴者団体の方々に高い評価をいただいています。

松戸を拠点として動いておりますが、ホームページやFacebookを活用し活動を行っているということもあり、NPO法人ユニバーサル・サウンドデザインの活動は全国レベルで認知されるようになりました。おかげさまで、全国紙であるソーシャルマガジン「ソトコト」の2月号にもご掲載いただくことができました。

今期も発案した企画を継続的に展開していき声と音のバリアフリーの認知をすすめていきたいと思っております。

5. 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

・ソトコトでの掲載をきっかけに、いろいろなお話をいただけるようになりました。ありがたいことに某テレビ局様より取材のご連絡をいただいております。当団体の活動「声と音のバリアフリー」について4月末あたりで放映できたらとのお話をいただいております。

シニアの方々の社会参加が盛んになっておりますが、聴こえについて考慮をしている会場が少ないとのアンケート結果が出てきております。

今期は企業や行政向けに聴こえ支援スピーカーをつかったPA レンタルサービスをスタートさせていただく予定です。松戸市だけでなく関東エリアで本団体の認知を進めるべく、引き続き活動を進めていきたいと思っております。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	団体拋出金	¥ 83,360	¥ 35,000	¥ ▲48,360	
	寄付金	¥ 50,000	¥ 50,000	¥ 0	
	自己資金合計額 (a)	¥ 133,360	¥ 85,000	¥ ▲48,360	
市	松戸市助成金 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (c) = (a + b)		¥ 233,360	¥ 185,000	¥ 48,360	

【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 30,000	¥ 65,000	¥ ▲35,000	外部講師謝礼
	印刷製本費	¥ 110,000	¥ 105,000	¥ 5,000	チラシ印刷
	消耗品費	¥ 25,000	¥ 0	¥ 25,000	チラシ用紙
	使用料	¥ 25,000	¥ 0	¥ 25,000	会場使用料
	賃借料	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	通信費	¥ 0	¥ 0	¥ 0	郵便料
	保険料	¥ 3,360	¥ 0	¥ 3,360	行事保険料
		対象経費の合計 (d)	¥ 193,360	¥ 170,000	¥ 23,360
(その他経費)	食糧費	¥ 20,000	¥ 5,000	¥ 15,000	
	打ち合わせ会議費	¥ 20,000	¥ 10,000	¥ 10,000	
		¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	その他経費の合計額 (e)	¥ 40,000	¥ 15,000	¥ 25,000	
合計額 (f) = (d + e)		¥ 233,360	¥ 185,000	¥ 48,360	

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費 (d) 欄の90%以内であること。
- 2 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額

¥

団体名 NPOユニバーサル・サウンドデゼン
代表者氏名 五百蔵 伸祐

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	当団体拠出金	¥ 35,000		事業費の一部を拠出
	寄付金	¥ 50,000	50,000	アサヒワンプールクラブ様より当団体への寄付金
	自己資金合計額	¥ 85,000		
市	松戸市助成金	¥ 100,000		
合計額		¥ 185,000		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項(用途など)	
助成金の交付対象経費	報酬費	¥ 30,000	30,000円*1回	演奏会 演奏者謝礼 15名分 演奏者名 菊池氏 30,000円*1回	
	報酬費	¥ 35,000	5000円*7回	操演家 操演謝礼 提供企業名ちよこグループ 5,000円*7回	
	印刷製本費	¥ 39,900	1,000部*39.9円	FAXナンバーがあると安心だね デザインおよび印刷代 五香 常盤平の実施分 1000部配布	
	印刷製本費	¥ 36,750	2部*18,375円	ポスターデザイン・印刷代 すくすく演奏会実施分 2部印刷	
	印刷製本費	¥ 28,350	1,000部*28.35円	すくすく演奏会チラシのデザイン印刷代 すくすく演奏会の実施分 1000部配布	
	対象経費の合計	¥ 170,000			
その他経費	食糧費	¥ 5,000	500円*10人	昼食代 500円*10人	
	打ち合わせ会議費	¥ 10,000			
	その他経費の合計	¥ 15,000			
合計額		¥ 185,000			

活動状況報告書

1. 総合科学教室 事業

2. エデンの園科学教室

3. 事業の実施内容

《会議・打合せ》

4月13日 研修会 (パソコンを利用した航空機シミュレーションで操縦体験)

4月21日 四月例会 (「錯視」体験と工作の体験)

5月19日 五月例会 (夏休み期間中の日程の検討と決定)

6月16日 六月例会 (「葉」の予習)

7月7日 七月例会 (「ボンボン船」について予習)

8月18日 八月例会 (「電子楽器」について予習)

9月15日 九月例会 (「紙飛行機」について予習)

10月20日 十月例会 (「ブーメラン」について予習)

10月26日～28日

エデンの園文化祭にて展示及びミニセミナー開催

11月17日 十一月例会 (冬休み・春休みの日程の検討と決定)

12月15日 十二月例会 (「ヘリコプター」について予習と中間報告)

1月19日 一月例会 (「セパタクロールボール」について予習)

2月16日 二月例会 (次年度スケジュールについて等)

3月16日 三月例会 (今年度振り返りと次年度に向けての抱負・心構え等)

《科学教室》

5月6日 第一回科学教室 「錯視」をテーマに脳のしくみについて 参加者 11名

6月30日 第二回科学教室 「葉」をテーマに色の不思議について 参加者 40名

7月21日 第三回科学教室 「ボンボン船」をテーマに蒸気と推進力について
参加者 21名

7月31日 第四回科学教室 「オイル式万華鏡」をテーマに屈折について 参加者 27名

8月25日 第五回科学教室 「電子楽器」をテーマに電気抵抗について 参加者 20名

10月13日 第六回科学教室 「紙飛行機」をテーマに空気抵抗について 参加者 11名

10月27日 第七回科学教室 「ブーメラン」をテーマに揚力について 参加者 15名

12月22日 第八回科学教室 「ヘリコプター」をテーマに推進力について 参加者 14名

2月23日 第九回科学教室 「セパタクロールボール」をテーマに多面体について
参加者 19名

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

当初、達成目標として三点を掲げているが

- ① 科学教室開催回数：年 10 回については 9 回開催したほか、所属する有料老人ホームの文化祭にブースとして出展し、地域の方々にも宣伝することができた。また、教室開催にあたっては松戸市広報等にも掲載いただいたことを深謝いたします。
- ② 児童参加者数：延べ 200 名以上の参加目標については、全教室開催で約 180 名にとどまっている。保護者等の参加者を含めると 270 名程度となるものの、次年度への課題としたい。
- ③ 「科学が好き」または「苦手ではなくなった」と参加者の 7 割の方にアンケートに記載していただけることを目標とした。参加者の内訳は、未就学 20%・小学生 60% 中学生 20%であった。男子の参加が多い回もあったが、90%の参加者から「楽しかった」、70%の参加者から「わかりやすかった」と回答いただけた。参加をきっかけに科学がごく身近にあることを理解していただけたと感じている。

(2) 事業課題の解決について

次代を担う子供たちの科学離れが指摘され久しいですが、わずかではあるが参加者の皆さんには科学に親しむ機会を提供できたと思います。リピーターとなってくれた子供もおり、また、各回のアンケートでも「また参加したい」との回答が多く寄せられています。教室を継続することによってさらに効果が高まると確信しています。

また、世代間交流を通じて高齢者にも住み易い町づくりの一助にという課題についても、運営側の高齢者と子供たちとその保護者とのふれあいは各回とも円滑におこなわれたと思います。まだまだ機会は少ないのですが、大人の知恵が子供に伝わり、相互に尊重した交流が生まれたことは言うまでもありません。

5. 今後の事業展開

現在の教室開催数については適正と考えているが、さらに近隣の小学校や幼稚園へ出張教室ができないかと模索している。従来から続けている、近隣子供会と連携した出張教室は好評を博しており、小学校等であればより学際的な内容を提供できるのではないかと考えている。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	寄付金	¥ 20,000	¥ 50,638	¥ 30,638	
	教室参加料	¥ 60,000	¥ 39,200	¥ ▲20,800	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金合計額 (a)	¥ 80,000	¥ 89,838	¥ 9,838	
市	松戸市助成金 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (c) = (a+b)		¥ 180,000	¥ 189,838	¥ ▲9,838	

【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 60,000	¥ 13,500	¥ 46,500	外部講師謝礼
	消耗品費	¥ 10,000	¥ 30,764	¥ ▲20,764	
	材料費	¥ 50,000	¥ 75,318	¥ ▲25,318	
	賃借料	¥ 15,000	¥ 10,500	¥ 4,500	音響設備
	通信費	¥ 10,000	¥ 440	¥ 9,560	郵便料
	保険料	¥ 5,000	¥ 0	¥ 5,000	
		対象経費の合計 (d)	¥ 150,000	¥ 130,522	¥ 19,478
(その他経費)	食糧費	¥ 20,000	¥ 1,200	¥ 18,800	
	会議費	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ 0	
	交通費	¥ 0	¥ 2,510	¥ ▲2,510	
	事務備品費	¥ 0	¥ 45,606	¥ ▲45,606	
	その他経費の合計額 (e)	¥ 30,000	¥ 59,316	¥ ▲29,316	
合計額 (f) = (d+e)		¥ 180,000	¥ 189,838	¥ ▲9,838	

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費 (d) 欄の90%以内であること。
- 2 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥	-
-----	---	---

団体名 **エデンの園 科学教室**
 代表者氏名 **代表 山本 喬**

収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	寄付金	¥ 50,638		
	教室参加費	¥ 39,200	300円*14人 500円*68人	
	自己資金合計額	¥ 89,838		
市	松戸市助成金	¥ 100,000		
合計額		¥ 189,838		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 13,500	3,500円*1名 2,500円*4名	
	消耗品費	¥ 30,764	コピー用紙 インク代	広報チラシ・会議資料代
	材料費	¥ 75,318		
	賃借料	¥ 10,500		音響器材使用料 マイク2台
	通信費	¥ 440		切手代
	保険料	¥ 0		
	対象経費の合計	¥ 130,522		
その他経費	食糧費	¥ 1,200	600円*2名	講師食事代
	会議費	¥ 10,000	1,000円*10回	
	交通費	¥ 2,510		松戸市役所まで
	事務備品費	¥ 45,606	収納用事務用品等	
	その他経費の合計	¥ 59,316		
合計額		¥ 189,838		